

2021年4月23日

報道関係者各位

プラスチックの資源循環型発電事業 ～ 苫小牧発電所の火入れから 20 年目へ突入 ～

サンニクスグループ（株式会社サンニクス本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 宗政 寛）が取り組むプラスチックの資源循環型発電事業において、サンニクスエナジー苫小牧発電所が、火入れから 20 年目を迎えます。パーゼル法（特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律）の改正により、ますます自国内での処分が課題となっているプラスチックの有効なりサイクル手段として、今後も持続的に貢献してまいります。

当社グループは全国 15 工場にて、製造工場様などから排出される廃プラスチックを回収・燃料化し、苫小牧発電所にてエネルギーとして再生する事業に取り組んでいます。世界でも類を見ない、プラスチック燃料のみを発電燃料とする当発電所の誕生にあたっては、設備の構造や燃料の品質など、ビジネスとして確立するための多くの試行錯誤がありました。1999 年の事業開始からこれまで、累計約 270 万トンのプラスチック燃料を苫小牧発電所で利用し、また、製紙会社様へ化石燃料の代替燃料として約 90 万トンを、セメント会社様等へ熱エネルギーおよびセメント等の原料として約 60 万トンをそれぞれ供給しております。

苫小牧発電所では、これまで約 451 万MWh を発電しております。プラスチック燃料による発電はCO₂排出量ゼロとみなされることから、同電力量を石炭火力発電所（従来型）が発電した場合と比較して、約 390 万トンのCO₂排出抑制に相当するものです。

当社グループは、今後も脱炭素社会ならびに資源循環型社会の実現に貢献してまいります。

サンニクスグループ 廃棄物処理・リサイクル関連施設



株式会社 **サンニクス**【東証1部上場 証券コード4651】

1975年創業。「次世代へ快適な環境を」を企業理念とし、環境とエネルギーに関する事業に取り組んでいます。戸建住宅・集合住宅の衛生管理・設備保全から、太陽光発電の製造・販売・施工、産業廃棄物の燃料化および当燃料による発電事業、電力小売まで、多岐にわたる事業を通じて、持続可能な社会づくりへの貢献をめざします。また、スポーツを通じた青少年の健全育成・国際交流にも注力しています。

本件に対するお問い合わせ先 株式会社サンニクス秘書室 田中・山下
TEL (092) 436-8882